

講義要項

[シラバス]

岐阜県立国際園芸アカデミー

2023 マイスター科 1年生用

○ マイスター科 1年（前期）開講科目

No.	分野	区分	科目名	担当教員	時間数
1	花き生産流通	必修	栽培・生産論	臼田	30
2	花き生産流通	必修	植物生理学	前田	30
3	花き生産流通	必修	花き生産実習	臼田	90
4	花き生産流通	必修	園芸流通概論	井上	30
5	花き装飾	必修	園芸装飾実習 I	吉田	30
6	花き装飾	必修	フラワーデザイン実習 I	林	60
7	花き装飾	選択	3級園芸装飾技能検定対策実習	林	30
8	花き装飾	選択	3級フラワー装飾技能検定対策実習	安保	60
9	造園緑化	必修	造園学概論	相田	30
10	造園緑化	必修	花修景実習 I	相田	30
11	造園緑化	必修	造園施工・管理実習 I	新井	60
12	造園緑化	選択	3級造園技能検定対策実習	新井	45
13	マーケティング	必修	商品動向リサーチ I	井上	15
14	植物管理	必修	植物管理基礎実習 I	前田	60
15	国際性	必修	Global Communication in Horticulture I	大脇	30

○ マイスター科 1年（後期）開講科目

No.	分野	区分	科目名	担当教員	時間数
16	花き生産流通	必修	イベント販売実習	井上	15
17	花き生産流通	選択	生産マネージメント実習 I	臼田	60
18	花き生産流通	選択	生産課題解決演習 I	臼田	45
19	花き装飾	選択	園芸装飾実習 II	吉田	30
20	花き装飾	選択	フラワーデザイン実習 II	林	60
21	造園緑化	必修	花修景実習 II	相田	30
22	造園緑化	選択	造園施工・管理実習 II	新井	60
23	造園緑化	選択	測量実習	新井	30
24	造園緑化	選択	製図実習	新井	30
25	造園緑化	選択	CAD製図実習	相田	30
26	マーケティング	必修	商品動向リサーチ II	井上	15
27	マーケティング	選択	商品開発演習	井上	30
28	マネージメント	必修	キャリアデザイン I	佐藤	30
29	マネージメント	必修	起業・経営シミュレーション	佐藤	30
30	文化・利用	選択	園芸色彩学	相田	30
31	文化・利用	選択	いけばな	片倉	15
32	文化・利用	選択	園芸福祉論・実習	相田	30
33	植物管理	必修	植物管理基礎実習 II	前田	30
34	国際性	必修	Global Communication in Horticulture II	大脇	30
35	就業体験	必修	インターンシップ I	各コース担当教員	120

国際園芸アカデミーの教員について

【専任教員】

今西 良共 学長 ☆

千葉大学園芸学部環境緑地学科卒業。名古屋市役所職員として長年に亘り公園緑地行政に従事。公園緑地の計画から整備及び管理運営まで幅広く携わるとともに、花や緑にふれあう機会の提供や市民活動の支援など様々な事業を展開。大学の非常勤講師や国や地方公共団体の審議会・委員会等の委員多数。

＜花き生産コース＞

臼田 浩通 教授

東京農業大学農学部農業経済学科卒業。岐阜県庁入庁。普及指導員、農業革新支援専門員として長年花き生産指導にあたる。花き総合指導センター、(財)法人花の都ぎふ花と緑の推進センターで花きの生産指導・普及に取り組む。県庁農産園芸課花き担当チーフを務め花き行政にも明るく、県内の花き業界に幅広いネットワークを持つ。恵那農林事務所農業普及課長を経て現職。

井上 守 准教授 博士(農学) ☆

名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程後期課程修了。(株)福花園植物流通センター取締役、豊明花き(株)経営企画課長、豊明物流(株)マネージャーなど花き流通業界に勤務した経験を活かして、商品の企画から販売までを実例を紹介しながら授業を行う。名古屋市立大学大学院 経済学研究科で経済学の非常勤講師を隔年で担当する。

前田 宝秀 准教授 博士(農学)

名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程後期課程修了。大学院でアサガオの花芽形成の研究に従事後現職。東海地域花き普及・振興協議会および愛知豊明鉢物流通改善協議会主催の東海鉢物品評会などにおいて審査員を務める。アカデミーでは植物の生産に関わる実習を担当。また、植物生理学・基礎育種学の講義では、植物の生長の仕組みや、育種の基礎知識・技術について解説する。

<花き装飾コース>

吉田 久美子 准教授 ☆

恵泉女学園短期大学園芸生活学科卒業。フラワー装飾技能士・グリーンアドバイザー。(株)ゴトウ花店、(株)白楽花園本店店長、(株)東光園（現：グリーン・ワイズ）販売部部長などを経て、オーガニック園芸店 t a p r o o t 主宰後現職。生花・鉢物販売や、デパート・ホテル・イベントなどにてグリーンディスプレイを多数手掛けた経験から、装飾全般、店舗経営などの科目を幅広く担当。基礎実践力、即戦力、応用力のあるフローリストの育成を目指している。

林 誠 講師 ☆

名古屋造形芸術大学デザイン学科卒業。青山フラワーマーケット勤務。店長を経て、本部にて仕入れ責任者として店長育成や店舗運営指導を担当の後、現職。花き装飾コースでは主にフラワーデザイン実習を担当。生花店で培ってきた経験やノウハウを次世代に引き継ぐべく、実践的な指導をしている。

<造園緑化コース>

相田 明 教授 博士(造園学)

東京農業大学大学院農学研究科博士後期課程修了。同大学造園科学科助手を経て現職。日本造園学会中部支部支部長、日本造園修景協会東海支部副支部長、NPO 法人日本園芸福祉普及協会監事、一般財団岐阜市未来のまちづくり財団評議員、岐阜市景観審議会委員、各務原市緑審議会議長・景観審議会委員、ぎふ清流里山公園運営協働会議委員長など。

新井 俊宏 准教授 ☆

東京農業大学農学部造園学科卒業。(株)アーク造園設計事務所を経て岐阜県庁入庁。公園緑地課、花フェスタ記念公園、都市公園課などを経て現職。1級造園施工管理技士、1級造園技能士、1級土木施工管理技士、技術士補（建設部門）、岐阜県自然工法管理士などの資格を持つ。学生同士の協調性と個人の創造性を伸ばすことに主眼を置いて指導している。

<マネージメント>

佐藤 智茂 准教授 修士(法学) ☆

名城大学大学院法学研究科修士課程修了。税理士法人中央経営勤務後、現職。主な担当科目は、職業選択や就職活動をサポートする授業『キャリアデザイン』、簿記会計の基本を学ぶ授業『基本簿記』、そして経営学の基礎知識を学ぶ授業『起業・経営シミュレーション』である。

慶應義塾大学ビジネススクール・ケースメソッド授業法研究普及室が認定する『ケースメソッド・インストラクター』を取得し、経営学習・教育の最先端の方法の一つである“ケースメソッド”の本校への導入と実践に取り組んでいる。

※ ☆は実務経験ありの教員

【客員教授】

氏 名	専門分野	役 職
上田 善弘	花卉園芸学 園芸文化	前岐阜県立国際園芸アカデミー学長 ぎふワールド・ローズガーデン理事
大川 勝徳	園芸文化	元 岐阜県立国際園芸アカデミー学長 金沢大学 名誉教授
鹿野 陽子	造園学	元岐阜県国際園芸アカデミー教授 鹿野都市建築計画事務所 代表
進士 五十八	造園学	東京農業大学名誉教授・元学長 福井県立大学名誉教授・前学長
武田 純	造園学	元岐阜県国際園芸アカデミー教授 ウッズプランニング代表
長縄 律子	装飾	元岐阜県国際園芸アカデミー特任教授 岐阜県フラワー装飾技能検定協議会顧問
吉長 成恭	園芸療法	日本園芸福祉普及協会理事長

【非常勤講師】

氏名	業種・専門	役職
浅野 洋一 ☆	公園管理運営	ぎふWRGマネジメントグループバラ管理課 課長
安保 有美 ☆	フローリスト	有限会社 アボウオーキッド
天野 勝美 ☆	造園施工管理	株式会社豊田ガーデン 代表取締役
天野 麻里絵 ☆	ガーデナー	株式会社豊田ガーデン花遊庭専属ガーデナー
池上 東平 ☆	造園施工管理	昭和造園土木株式会社
石神 洋一 ☆	園芸福祉	特定非営利活動法人たかつき代表理事
市橋 正一	園芸学	元愛知教育大学 教授
伊藤 健文 ☆	弁護士	河合法律事務所 弁護士
上野 恵 ☆	公園管理運営	ぎふWRGマネジメントグループ植栽管理課 課長
荏原 温子 ☆	カラーコーディネーター	株式会社 花・色デザイン研究所 代表取締役
大脇 みどり	英語講師	英語講師
小笠原 誓 ☆	園芸文化	名古屋園芸株式会社 代表取締役社長
尾関 純子 ☆	ユーチューバー	花創人 代表
小関 正司 ☆	花き生産	小関園芸
落合 正樹	園芸学	岐阜大学応用生物科学部助教
片倉 佳容 ☆	いけばな	池坊岐阜中央支部 副支部長
加藤 友規 ☆	造園施工管理運営	植彌加藤造園株式会社代表取締役社長 京都造形芸術大学 教授
金澤 美浩 ☆	花き生産・育種	有限会社矢祭園芸 代表取締役
國井 理佐 ☆	フローリスト	クニイ園芸
佐久間 貴敏 ☆	園芸装飾	株式会社 華友園 リース部部长
嶋津 光鑑	植物環境制御学	岐阜大学応用生物科学部教授
高木 雄基 ☆	造園施工管理	ランドスケープ庭吉 代表
田中 修一 ☆	ガーデンデザイナー	JIAXING SHUYI GARDEN
中西 裕子 ☆	フローリスト	フラワーデザインスクール プレーム主宰
新山 星 ☆	フローリスト	フローリスト
西垣 直人 ☆	造園施工管理	株式会社 LEAF 代表取締役
西川 真水 ☆	造園学	西日本短期大学 緑地環境学科学科長
日比 真一 ☆	造園施工管理運営	昭和造園土木株式会社 代表取締役社長
福井 典子 ☆	ギャザリング	F.company 代表
福永 哲也 ☆	園芸流通	豊明花き株式会社 代表取締役社長
福本 野恵 ☆	盆栽	芳津園
ヘンティネン クミ☆	フラワーデザイナー	梨乃花FIND 北欧フラワーデザイン協会 Flower School LINOKA Kukka 代表
堀部 裕美子 ☆	造園設計(CAD)	studio Moat club 代表
水谷 喜輝 ☆	花き生産	美咲園芸代表
村脇 恵理 ☆	キャリアカウンセラー	オフィス成旺 所属 キャリアコンサルタント
横山 直樹 ☆	花き生産	横山園芸 代表
若尾 光秀 ☆	造園施工管理	有限会社根本造園 代表取締役社長
脇田 ひかる ☆	フローリスト	株式会社プーコニュ
渡邊 三好 ☆	造園施工	株式会社中濃 土木主任

※ ☆は実務経験ありの教員

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
栽培・生産論		○臼田 浩通					  				
授業形態	講義	開講時期	1年前期	時間数	30	区分	必修	分野	花き生産流通		
背景と目的		花き栽培・生産を行うには、品目に適した用土の選択や改善、水管理、病害虫対策、施肥管理など幅広い知識が求められる。本科目では、用土、土壌、肥料、かん水システム、病害虫及び農薬、肥料などについて解説し、花き栽培・生産の基礎の習得を目的とする。									
到達目標		①土壌の性質及び肥料の働きについて理解する。 ②病害虫対策について理解する。 ③かん水システムの特徴について理解する。 ④岐阜県育成花きの特性を理解する。									
授業外の学習		授業前にふり返しを行うので、必ず前回のプリントを読み返し、疑問点を整理しておくこと。									
評価方法		取組姿勢(20%)、筆記試験(80%)									
教科書		—									
参考書		『新版土壌肥料用語辞典』(農文協)、『新版病害虫の出方と農薬選び』(農文協)									
関連する資格		農業管理指導士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	用土の種類と特徴	主な用土の特性	臼田
2	2	土壌について①	土壌中の水、空気、固体の割合などの物理性	臼田
3	2	土壌について②	土壌のpHや保肥力などの化学性	臼田
4	2	土壌について③	土壌中の微生物の働きなど生物性	臼田
5	2	土壌について④	迅速な土壌診断方法など(pH、EC、ベルマン法等)	臼田
6	2	主なかん水システムについて	校内のかん水システムの種類と特徴	臼田
7	2	花きの病害虫について①	害虫の種類と発生	臼田
8	2	花きの病害虫について②	病害の種類と発生	臼田
9	2	花きの病害虫について③	病害発生の特徴と診断方法	臼田
10	2	花きの病害虫について④	校内の病害虫発生状況調査	臼田
11	2	農薬について	農薬の種類と選び方及び散布方法	臼田
12	2	肥料について①	肥料の働きなど	臼田
13	2	肥料について②	肥料の種類とほ場の施肥設計	臼田
14	2	岐阜県のオリジナル花き	県が育成したオリジナル花きの動向	臼田
15	2	試験	筆記試験	臼田

特記事項	土壌、病害虫、農薬、肥料は、卒業後学びなおしをしたいという声が多い分野である。
学生へのメッセージ	この授業で学ぶ内容は、花き生産だけでなく、庭・花壇づくりや公園など、植物管理で必要なことです。しっかり理解するように心がけましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
植物生理学		○前田 宝秀					  				
授業形態	講義	開講時期	1年前期	時間数	30	区分	必修	分野	花き生産流通		
背景と目的		植物を取り扱う上で、植物の構造や代謝、ライフサイクル等を理解しておくことは重要である。本科目では、まず植物の構造とその働きを知った上で、光合成や呼吸などの代謝、発芽から栄養生長、花芽分化、開花までの植物のライフサイクルについて学ぶことで、植物の生長過程でどのような人為的管理が必要なのかを理解することを目的とする。さらに、鉢物・切花において商品価値の低下をもたらす老化の仕組みについて学び、植物の鮮度保持に関する理解を深めることを目的とする。									
到達目標		①植物体の構造とそのはたらきを理解する。 ②植物の代謝およびその制御方法を理解する。 ③環境制御による植物のライフサイクルの調節方法を理解する。 ④花の老化の仕組みおよび老化を防止する方法を理解する。									
授業外の学習		植物生理学で学んだ知識を活かすことを常に意識して、植物を扱う他の講義・実習・演習に臨むこと。									
評価方法		取組姿勢(20%)、筆記試験(80%)									
教科書		—									
参考書		『草花栽培の基礎』(農文協)									
関連する資格		—									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	植物生理学概要	植物生理学を学ぶ目的	前田
2	2	植物の構造①	個体と器官の構造と働き	前田
3	2	植物の構造②	組織と細胞の構造と働き	前田
4	2	植物の代謝①	光合成の仕組み	前田
5	2	植物の代謝②	光合成速度に影響を及ぼす環境要因	前田
6	2	植物の代謝③	光合成経路の異なる植物の生理的特性	前田
7	2	植物の代謝④	花色、香気成分等の二次代謝	前田
8	2	植物のライフサイクル①	ライフサイクルによる植物の分類	前田
9	2	植物のライフサイクル②	種子発芽から栄養生長	前田
10	2	植物のライフサイクル③	生殖生長	前田
11	2	生長調節剤	植物ホルモン・植物生長調節剤	前田
12	2	植物の老化と鮮度保持①	植物の老化機構	前田
13	2	植物の老化と鮮度保持②	栽培環境と花持ち	前田
14	2	植物の老化と鮮度保持③	鮮度保持技術	前田
15	2	試験	筆記試験	前田

特記事項	本科目の「植物の老化と鮮度保持」で鮮度保持の理論を学び、『フラワーデザイン実習Ⅰ』で実践する。
学生へのメッセージ	植物の生きる仕組みを知ることで、植物がうまく育たない場合の原因とその対策方法を科学的に考えることができます。植物生理を理解することは植物を扱う職業に就く人にとっては必要不可欠ですので、しっかりと基本を学びましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
花き生産実習		○臼田 浩通、前田 宝秀、小関 正司☆(非常勤講師)、水谷 喜輝☆(非常勤講師)					  			
授業形態	実習	開講時期	1年前期	時間数	90	区分	必修	分野	花き生産流通	
背景と目的	本科目では、春・夏期の花きの繁殖、栽培管理を行い、鉢物、苗物及び切り花生産におけるそれぞれの基礎技術の習得を目指す。									
到達目標	①花きの繁殖方法を理解する。 ②花きの栽培管理を習得する。 ③花きの出荷調整を習得する。 ④チームワークの重要性を理解する。									
授業外の学習	本科目で扱う生産物については、授業時間外でも生育状況を観察すること。									
評価方法	取組姿勢(60%)、筆記試験(40%)									
教科書	『園芸「コツ」の科学』(講談社)									
参考書	—									
関連する資格	—									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		2つのグループに分け、鉢物および切り花の実習をそれぞれ行う。 実習で扱う植物は以下の通りである。 鉢物、苗物:ペゴニア、ニチニチソウ、アゲラタム、トレニア、インパチェンス、ジニア、サルビア、ペチュニア、マリーゴールド、センニチコウ、メランポジウム、ダイアンサス、ポットマムなど 切り花:バラ、キンギョソウ、マトリカリア、アスター、ガーベラ、トルコギキョウ、フランネルフラワーなど		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	栽培技術①	鉢物: 播種① 切り花:トルコギキョウ圃場準備	臼田・前田
2	4	栽培技術②	温室遮光カーテンの設置	臼田・前田
3	4	栽培技術③	鉢物: 灌水方法解説 切り花:トルコギキョウ 定植	臼田・前田
4	4	栽培技術④	鉢物: ポット上げ① 切り花: マトリカリア等 定植	臼田・前田
5	4	栽培技術⑤	鉢物: 苗物の栽培試験 切り花: ガーベラ 葉かき	臼田・前田
6	4	栽培技術⑥	鉢物: ポット上げ② 切り花: バラ 芽整理	臼田・前田
7	4	栽培・出荷調整技術①	鉢物: 寄せ植え商品制作 切り花: ガーベラ収穫調整	臼田・前田
8	4	栽培・出荷調整技術②	鉢物: 施肥・出荷調整① 切り花: バラ収穫および出荷調整	臼田・前田
9	4	栽培技術⑦	鉢物: 植物の仕立て方(ピンチ) 切り花: ソナム定植	臼田・前田
10	4	栽培技術⑧	鉢物: 培養土の化学性調査 切り花: フランネルフラワー鉢替え	臼田・前田
11	4	栽培技術⑨	鉢物: 培養土作製 切り花:トルコギキョウ 側枝整理	臼田・前田
12	4	栽培技術⑩	鉢物: シクラメンの鉢替え① 切り花: マトリカリア側枝整理	臼田・前田
13	4	栽培・出荷調整技術③	鉢物: シクラメンの鉢替え② 切り花: マトリカリア収穫調整	臼田・前田
14	4	花き商品開発の展望	商品開発に必要な視点や今後の展望について学ぶ	小関
15	4	栽培・出荷調整技術④	鉢物: 苗物生産における生産コストの計算 切り花: アスター収穫調整	臼田・前田
16	4	ポットマム栽培の実際	ポットマムなど鉢物栽培の現状とさし芽について学ぶ	水谷
17	4	栽培・出荷調整技術⑤	鉢物: 生産物販売データ分析 切り花:トルコギキョウ収穫調整①	臼田・前田
18	4	栽培技術⑪	鉢物: 播種② 切り花: ストック播種	臼田・前田
19	4	栽培・出荷調整技術⑥	鉢物: 病害虫防除・施肥 切り花:トルコギキョウ収穫調整②	臼田・前田
20	4	栽培・出荷調整技術⑦	鉢物: 施肥・出荷調整② 切り花: ストック 定植	臼田・前田
21	4	栽培・出荷調整技術⑧	鉢物: 施肥・出荷調整③ 切り花: キク 定植	臼田・前田
22	4	栽培技術⑫	鉢物: シクラメンの管理 切り花: キンギョソウ 定植	臼田・前田
23	2	試験	筆記試験	臼田・前田

特記事項	植物の生育状況等により実習内容を変更する場合がある。 温室内は高温となるため、常に体調管理に気をつけること。また、熱中症対策(水分補給等)に特に留意すること。
学生へのメッセージ	鉢物及び切り花について、多くの品目を扱うので、それぞれの花きの特徴を覚えましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
園芸流通概論		○井上 守☆、福永 哲也(非常勤講師)☆								
授業形態	講義	開講時期	1年前期	時間数	30	区分	必修	分野	花き生産流通	
背景と目的		日本の花き生産は1990年をピークに減少の一途をたどっている。花き流通の現場では生産の減少に伴い厳しい経営環境が続き、生き残りを賭けて大胆な変革や抜本的な構造改革を余儀なくされている。本科目では、目まぐるしく変化する流通現場の最新情報と現物を見ることで、今後の花き流通について理解する事を目的とする。								
到達目標		①国内外の花きの消費状況や生産状況を理解する。 ②卸売市場や農協の中間業者の役割と機能を理解する。 ③トレードフェアを視察し、最新の情報や商品に触れて、商品開発のトレンドを知る。 ④物流や園芸資材に関する最新事情を理解する。								
授業外の学習		農業関係の新聞記事に関心を持ち、日頃から気にかけておく。								
評価方法		取組姿勢(20%)、筆記試験(80%)								
教科書		『園芸大図鑑』(ブティック社)								
参考書		『物流ビジネス最前線 -ネット通販、宅配便、ラストマイルの攻防-』(光文社新書)								
関連する資格		—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	花の消費	国内の花の消費状況	井上
2	2	国内の花き生産	国内の切花、鉢物、樹木の生産状況	井上
3	2	植物の表記とその呼称	正式な植物名(学名、種小名、品種名)の表記と一般に使用される植物の呼称についての整理	井上
4	2	卸売市場や農協の機能と役割	中間業者として卸売市場や農協の歴史と果たしてきた役割とその未来	井上
5	8	学外視察 豊明花き(株)トレードフェア 見学 5月中旬の(土) 予定	<ul style="list-style-type: none"> ・日本最大の花きトレードフェアに参加。全国の優良生産者の商品展示から、流行の最先端の植物やその品質を学習する ・豊明花き(株)の施設を見学 ・福永講師の特別講演(90分) 「消費動向からみる豊明花きのDX戦略」	井上 福永
6	2	海外の花き生産と植物検疫	海外の花き生産と日本に輸出される花きの状況と植物検疫の現状	井上
7	2	花き流通を支える物流	物流の「2024年問題」から見える花き流通の現状	井上
8	2	花の小売	花の小売店(生花店、園芸店、ホームセンターの特徴とビジネスモデル)	井上
9	2	ホームセンターとガーデンセンター	ホームセンターのビジネスモデルとガーデンセンターの種類	井上
10	2	花のサブスクの今	花のサブスクリプションサービスの現状	井上
11	2	試験	筆記試験	井上
12	2	園芸資材の技術革新と特許	様々な園芸資材を紹介し、その特許について解説	井上

特記事項	豊明花き(株)トレードフェア見学は、変更する場合がある。
学生へのメッセージ	『百聞は一見にしかず』といいますが、私は『百見は一験(体験してみる)、一触(さわってみる)にしかず』と思っています。最新の流通現場を体験して触れてみましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
園芸装飾実習Ⅰ		○吉田 久美子☆ 佐久間 貴敏☆(非常勤講師) 福井 典子☆(非常勤講師)					   				
授業形態	実習	開講時期	1年前期	時間数	30	区分	必修	分野	花き装飾		
背景と目的		快適な生活空間において植物は必要不可欠となっている。まず植物に触れて育てる技術を得し、植物を使った装飾をする必要がある。本科目は基本的な植物の育て方と管理方法を学び、多様な植物の装飾方法の基礎技術を習得することを目的とする。									
到達目標		①生活空間での植物の装飾方法および家庭園芸での植物の維持管理方法を理解する。 ②制作した寄せ植えハンギングバスケットなどを長期メンテナンスすることによって、管理方法を習得する。 ③園芸装飾実技試験のデモンストレーションを通し、観葉植物を使用した装飾方法を習得する。 ④春から秋にかけての植物の管理を習得する。									
授業外の学習		授業で制作したものは、常時観察・管理すること。									
評価方法		取組姿勢(20%)、提出物(20%)、筆記試験(60%)									
教科書		『フラワーデザイナーのための花の教科書』(講談社)									
参考書		—									
関連する資格		2級・3級園芸装飾技能士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		ぎふワールド・ローズガーデンで、園芸装飾の事例調査を行い、寄せ植えやハンギングバスケットなどを制作し学内で管理及びメンテナンスを行う。 また後期の学内ディスプレイ制作に向けて室内園芸装飾制作の事例を検定試験課題から学ぶ。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	園芸装飾の事例	園芸装飾の魅力 装飾事例の視察調査(ぎふワールド・ローズガーデン)	吉田
2	4	家庭園芸基礎① 寄せ植え基礎①	植木鉢の種類とその用途 バルコニープランター・寄せ植え制作	吉田
3	4	家庭園芸基礎② ハンギングバスケット基礎	肥料と一般家庭で使用する農業について ハンギングバスケットの制作と管理	吉田
4	4	室内園芸装飾①	観葉植物の組み合わせた装飾の作り方 資材の特徴と扱い方	佐久間
5	4	室内園芸装飾②	高低差の収め方 室内作業と管理の注意点	佐久間
6	4	家庭園芸基礎③ 苔玉・ハイドロカルチャー	観葉植物の管理方法 苔玉制作・ハイドロカルチャー制作	吉田
7	4	寄せ植え基礎②	Plants gathering(プランツ・ギャザリング®)の制作	福井
8	2	試験・まとめ	筆記試験・制作物の振り返り	吉田

特記事項	実習にふさわしい服装でハサミを持参すること。
学生へのメッセージ	生活空間での植物の管理は園芸を学ぶものとして必要です。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
フラワーデザイン実習Ⅰ		○林 誠☆・吉田 久美子☆・中西 裕子☆(非常勤講師)					   				
授業形態	実習	開講時期	1年前期	時間数	60	区分	必修	分野	花き装飾		
背景と目的		「花と緑のある生活」は、人々の心を癒し、時には元気や活力を得ることができる事から、忙しい現代社会において、花き装飾に求められる役割は今後一層大きくなると思われる。フラワーデザインとは植物を素材とし、人が手を加えることで、植物の魅力を最大限に引き出しながら用途に合わせた美を表現することである。本科目では、フラワーアレンジメントや花束などを制作することにより、フラワーデザインの基礎技術を身につける事を目的とする。									
到達目標		①フラワーアレンジメントの基本技術を習得する。 ②花束の基本技術を習得する。 ③フラワーデザインについての基本知識を習得する。									
授業外の学習		・実習で学んだ技術を復習しておくこと。 ・制作物のメンテナンス・撤去は授業時間外でも行うこと。									
評価方法		取組姿勢(50%)、実技(40%)、筆記試験(10%)									
教科書		『フラワーデザイナーのための花の教科書』(講談社)									
参考書		『フローリスト』(誠文堂新光社)、『花時間』(株式会社KADOKURA)、 『NFDウエディングフラワーコーステキスト』(日本フラワーデザイナー協会)									
関連する資格		2級・3級フラワー装飾技能士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		デモンストレーションを参考に作品を制作する。		
授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	フラワーデザイン概要	フラワーデザインの世界と心得・フリーアレンジ	林
2	4	アレンジメントの基本①	ラウンド・ホリゾンタル	林
3	4	アレンジメントの基本②	トライアングラー・ファン	林
4	4	アレンジメントの基本③	パーティカル、フラワーアレンジの歴史	林
5	4	アレンジメントの基本④	面構成と自然度	林
6	4	ウェディングブーケの基本	ブライダーラウンドブーケ	林
7	4	コサージュ・ブートニアの基本	ワイヤリングテクニック・ループリボン	吉田
8	4	プリザーブドフラワーの基本	プリザーブドフラワーの特徴・ローズメリア	中西
9	4	ドライフラワーの基本	ドライフラワーの特徴・壁掛け	中西
10	4	押し花の基本	押し花の特徴・額縁	中西
11	4	花束の基本①	水あげ方法・スパイラルテクニック(一方見と四方見)	林・吉田
12	4	花束の基本②	ラッピング方法・パラレルテクニック	林
13	8	生花店見学と花材選び	テーマに沿った花束・アレンジメント制作(学外)	林
14	4	試験	筆記試験・実技(コサージュ制作)	林

特記事項	実習にふさわしい服装で受講すること。
学生へのメッセージ	フラワーデザインの基礎技術や知識を学び、植物の魅力を最大限に引き出し、美しく表現できるようになりましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
3級園芸装飾技能検定対策実習		○林 誠☆、佐久間 貴敏☆(非常勤講師)					   				
授業形態	実習	開講時期	1年前期	時間数	30	区分	選択	分野	花き装飾		
背景と目的		園芸装飾技能検定は花や緑の装飾に関わる職業に従事する人として、室内装飾の技術があるかの判断するための国家試験である。 本科目は園芸装飾技能士の取得もしくは、同レベルの技術と知識の習得を目的とする。									
到達目標		①3級園芸装飾技能検定合格水準の技術力を習得する。 ②3級園芸装飾技能検定合格水準の園芸装飾に関する知識を習得する。 ③実技試験内容を繰り返し制作練習することで装飾技術を習得する。									
授業外の学習		・実技試験の練習は授業外にも自主的に行うこと。 ・受講にあたって各自予習、復習を行うこと。									
評価方法		取組姿勢(50%)、実技(50%)									
教科書		—									
参考書		『園芸装飾ハンドブック』(マルモ出版)									
関連する資格		2級・3級園芸装飾技能士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		実技課題を、各自の習得スピードに合わせて、指導を行う。		
授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	検定試験の概要	検定試験の概要説明と準備	林
2	4	実技試験対策①	実技課題1の制作の基本	林
3	4	実技試験対策②	実技課題1の制作の基本の徹底	林
4	4	実技試験対策③	実技課題2の制作の基本	林
5	4	実技試験対策④	実技課題2の制作の基本の徹底	林
6	4	実技試験対策⑤	効率的な実技課題制作	佐久間
7	4	実技試験対策⑥	制限時間内での実技課題制作	林
8	2	学科試験対策	過去問題・模擬問題	林

特記事項	実習にふさわしい服装で受講すること。 時間外の練習も必要のため、授業外も練習する意欲が必要である。
学生へのメッセージ	合格目指して頑張りましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
3級フラワー装飾技能検定 対策実習		○安保 有美☆(非常勤講師)、吉田 久美子☆、林誠 ☆								
授業 形態	実習	開講 時期	1年 前期	時間数	60	区分	選択	分野	花き装飾	
背景と目的		3級フラワー技能検定は花の装飾に関わる職業に従事する人として、最低限の技術があるかの判断するための国家試験である。本科目は3級フラワー装飾技能士の取得もしくは、同レベルの技術と知識の取得を目的とする。								
到達目標		①3級フラワー技能検定の合格水準の技術力を習得する。 ②実技試験内容を繰り返し制作練習することで基礎的な技術を習得する。 ③学科試験のためのフラワーデザインに関する知識を習得する。								
授業外の学習		実習で学んだ技術を復習し習得すること。学科過去問題を予習しておくこと。								
評価方法		取組姿勢(50%)、実技(50%)								
教科書		『フラワーデザイナーのための花の教科書』(講談社)								
参考書		『フラワー装飾技能検定試験・実例とポイント』(講談社エディトリアル)								
関連する資格		3級フラワー装飾技能士								

☆☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		花束・アレンジメント・ブートニアの3課題を、花材の入荷と各自の習得スピードに合わせて、個別に指導を行う。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	検定試験の概要	検定試験の概要説明とデモンストレーション	安保・吉田
2	4	花束課題①	花束の基本	安保
3	4	花束課題②	花束の基本徹底	安保
4	4	花束課題③	効率的な花束の制作	安保
5	4	アレンジメント課題①	アレンジメントの基本	安保
6	4	アレンジメント課題②	アレンジメントの基本徹底	安保
7	4	アレンジメント課題③	効率的なアレンジメントの制作	安保
8	4	ブートニア課題①	ブートニアの基本	安保
9	4	ブートニア課題②	ブートニアの基本徹底	安保
10	4	ブートニア課題③	効率的なブートニアの制作	安保
11	4	3課題①	時間配分を考慮した通し練習①	安保
12	4	3課題②	時間配分を考慮した通し練習②	安保
13	4	3課題③	時間配分を考慮した通し練習③	安保
14	4	3課題④	実技課題最終確認	安保
15	4	学科試験対策	過去問題・模擬問題	林・吉田

特記事項	3級保持者も履修可能。2年生で履修希望する場合は担当教員と協議し「相互科目履修」を申請し許可を受け、履修することが出来る。 合格を目指すには授業外も練習する意欲が必要となる。また花材費は約4万円かかる。
学生へのメッセージ	合格目指して頑張りましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
造園学概論		○相田 明、今西 良共☆					  				
授業形態	講義	開講時期	1年前期	時間数	30	区分	必修	分野	造園緑化		
背景と目的		庭園や公園、ガーデニング、都市緑化、ランドスケープといった造園空間に対する関心は高く、特に日本庭園は日本文化の代表として世界的に関心が高まりつつある。本科目では、庭園から公園、国立公園、地球環境まで広く取り扱う造園について知見を深めることを目的とする。									
到達目標		①造園の概念について理解する。 ②造園の職能について理解する。 ③実際に造園空間を見学することにより、様々な造園空間に対する知見を深める。 ④各時代につくられた日本と海外の庭園・造園やわが国の公園制度、造園の今日的課題について理解する。									
授業外の学習		造園に関する書籍、『ランドスケープデザイン』や『庭』などといった雑誌を積極的に読むこと。									
評価方法		取組姿勢(20%)、提出物(40%)、筆記試験(40%)									
教科書		『造園施工必携』(日本造園組合連合会)									
参考書		『造園学概論』(朝倉書店)									
関連する資格		2級・3級造園技能士、造園施工管理技士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	造園とは何か	造園の概念、造園の職能	相田
2	2	日本の造園史①	日本の造園様式の様式と手法: 日本庭園の起源～平安時代の庭園	相田
3	2	日本の造園史②	日本の造園様式の様式と手法: 鎌倉・南北朝時代の庭園～江戸時代の庭園	相田
4	2	日本の造園史③	日本の造園様式の様式と手法: 明治時代の造園～戦後から現在までの造園	相田
5	8	学外視察	虎渓山永保寺、虎渓用水広場、棚田(文化的景観)、商業施設の庭園(銀の森)の見学	相田
6	2	造園の様式と技法	池泉回遊式庭園、枯山水、縮景、築山庭と平庭、潮入の庭、茶庭(露地)	相田
7	2	海外の造園史①	海外の造園様式と変遷: 紀元前の庭園～イタリアの庭園	相田
8	2	海外の造園史②	海外の造園様式と変遷: フランスの庭園～イギリスの庭園	相田
9	2	海外の造園史③	海外の造園様式と変遷: ドイツの庭園～中国の庭園	相田
10	2	わが国の公園	公園の分類、都市公園、自然公園	今西
11	2	造園の今日的課題	都市緑化、多様化する造園空間	相田
12	2	試験	筆記試験	相田

特記事項	視察先は変更する場合がある。
学生へのメッセージ	今ある造園空間のデザインは造園家の思いつきではなく、造園の歴史の蓄積が基礎になっています。日本や海外の造園空間を「旅」することで、皆さんのデザインボキャブラリーが増えることを願います。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
花修景実習 I		○相田 明、天野 麻里絵☆(非常勤講師)									
授業形態	実習	開講時期	1年前期	時間数	30	区分	必修	分野	造園緑化		
背景と目的		花を使った修景(景色を整えること)は、人々の目を引くことから、個人の庭園から都市公園、商業施設までさまざまな場面で活用されている。1年前期・後期、2年前期の1年半にわたり継続する「花と緑の学校」の基礎を学ぶ『花修景実習 I』は、学内で栽培した一年草の花壇苗を中心とした本館と研修教育棟の植栽地及び宿根草を中心としたボーダーガーデンの計画・植栽・管理について学ぶ。									
到達目標		①植物の植栽管理を通じて、継続的に記録することができる。 ②花壇の計画ができる。 ③花を使った修景空間の視察調査を報告することができる。									
授業外の学習		季節ごとに咲く花に関心を持ち、写真を撮るなどして変化を観察すること。									
評価方法		取組姿勢(50%)、提出物(50%)									
教科書		『宿根草でつくる自分好みの庭』(NHK出版)									
参考書		『ガーデン植物大図鑑』(講談社)									
関連する資格		—									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		主に学内で生産した花苗を使い実習を行う。 学外の視察調査を予定している。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	花壇の植物とその植栽法、花壇のデザイン、花壇の管理	花壇で使用する植物とその管理方法、花壇のデザインの手法、植栽管理方法	天野
2	4	夏花壇の土壌改良	冬花壇の撤去と土づくり	相田
3	4	夏花壇の植栽	一年草の植栽	相田
4	4	ボーダーガーデンとは	ボーダーガーデンと宿根草、管理	天野
5	4	夏花壇・ボーダーガーデンの管理①	切り戻しと宿根草の植栽	天野
6	4	夏花壇・ボーダーガーデンの管理②	切り戻しと宿根草の管理	天野
7	4	視察調査	花を使った修景空間の視察調査(豊田ガーデン)	相田
8	2	まとめ	まとめと花修景実習 II に向けての説明、管理	相田

特記事項	実習ではハサミ、手袋、帽子、作業し易い服装が必要。
学生へのメッセージ	公園の現場では、花苗植栽や花がら摘みはアルバイトやボランティアが行うことも多く、我々の仕事は花苗の購入手配や土壌改良、除草といった裏方の地味な仕事となります。しかし、このような仕事があるからこそ、花が美しく保たれることにつながります。花を使った空間づくりができるようになりましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
造園施工・管理実習Ⅰ		○新井 俊宏☆、池上 東平☆(非常勤講師)、 浅野 洋一☆(非常勤講師)					   			
授業形態	実習	開講時期	1年 前期	時間数	60	区分	必修	分野	造園緑化	
背景と目的	<p>施工実習では、自然材料や加工材料を用いた造園施設の制作、管理実習では学内庭園や植物について時期や生育特性に合わせた管理方法などを学ぶとともに、造園的視点・視野をもった観察力の強化を図る。これにより、潤いとやすらぎのある造園空間を創造するための基礎的な知識、技術、センスを習得する。</p>									
到達目標	<p>①造園植物(樹木、下草、芝生など)の生育特性を踏まえた管理方法を習得する。 ②造園施設(竹垣、敷石、レンガ舗装など)の施工方法を習得する。 ③グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。</p>									
授業外の学習	<p>・学内造園空間のエリア管理を必要に応じ行うこと。 ・「Landscape Design」、「庭」、環境緑化新聞等を読むこと。</p>									
評価方法	取組姿勢(70%)、提出物(30%)									
教科書	『造園施工必携』(日本造園組合連合会)									
参考書	『造園技術ハンドブック』(誠文堂新光社)									
関連する資格	2級・3級造園技能士、2級造園施工管理技士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	学内の庭園や植栽地をフィールドとして、造園施工作業及び造園管理作業の実習を行う。毎回、実習の内容を野帳等に記して翌日提出すること。			
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	造園管理①	造園空間の観察と道具の取扱い	新井
2	4	造園管理②	灌木の刈り込み	新井
3	4	造園管理③	芝生の管理	新井
4	4	造園管理④	常緑樹の春の管理(クロマツのミドリ摘み)	池上
5	4	造園施工①	土の造形物の制作	新井
6	4	造園管理⑤	本館アプローチ花壇の植栽計画	新井
7	4	造園管理⑥	本館アプローチ花壇の植栽	新井
8	4	造園施工②	レンガ舗装の施工(土工、路盤工)	新井
9	4	造園施工③	レンガ舗装の施工(レンガ敷設)	新井
10	4	造園管理⑦	初夏の花木剪定	新井
11	4	造園施工④	四ツ目垣の制作	新井
12	4	造園施工⑤	縁石、敷石の据付	新井
13	4	造園管理⑧	バラの特性と夏季剪定	浅野
14	4	造園管理⑨	常緑樹の剪定	池上
15	4	造園管理⑩	本館前庭園の管理	新井

特記事項	実習時は長袖作業着、グローブ、帽子などを着用すること。天候などの理由により実習内容を変更する場合がある。夏期の高気温の実習では、熱中症防止のため帽子を着用し、水分を随時補給すること。
学生へのメッセージ	造園の基本的な知識や技術、センスをこの授業でしっかり身につけてください。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
3級造園技能検定対策実習		○新井 俊宏☆					   				
授業形態	実習	開講時期	1年前期	時間数	45	区分	選択	分野	造園緑化		
背景と目的		造園技能士は造園に関する知識と技能の試験を行い、その合格者に与えられる国家資格である。造園技能士は、一般の家庭の庭づくりや維持管理ばかりでなく、大規模な公共工事の現場で従事することが義務づけられるなど、社会的な必要性が高まっている。本科目は3級造園技能検定の合格を目指すものである。									
到達目標		①学科試験合格水準に達する知識を習得する。 ②実技試験(製作等作業試験)に関し、規定時間内に規定の寸法どおりに完成することができる。 ③実技試験(判断等試験)に出題される樹木を判別することができる。									
授業外の学習		・実技試験の自主練習 ・学科試験、判断等試験の自主学習									
評価方法		取組姿勢(80%)、実技(20%)									
教科書		『3級造園技能検定受検の手引き(学科・実技編)』(日本造園組合連合会)									
参考書		『葉っぱでわかる造園樹木図鑑』(講談社)									
関連する資格		3級造園技能士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		学科試験対策は、受検の手引きに掲載されている過去問題を解きながら解説を行う。 実技試験対策は、練習場において、繰り返し課題を制作して練習する。 判断等試験対策は、学内の樹木枝を標本木として枝、葉、芽などの特徴を覚える。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	試験概要	学科・実技試験の概要説明	新井
2	4	判断等試験対策①	樹木枝の収集、樹木の特徴解説	新井
3	4	学科試験対策①	過去問題(R4)による学科試験の出題傾向と対策	新井
4	4	実技試験対策①	実技試験課題の練習(竹垣)①	新井
5	4	実技試験対策②	実技試験課題の練習(竹垣)②	新井
6	4	実技試験対策③	実技試験課題の練習(縁石、敷石)①	新井
7	3	学科試験対策② 判断等試験対策②	過去問題(R3)による学科試験の出題傾向と対策・判断等試験対策	新井
8	4	実技試験対策④	実技試験課題の練習(縁石、敷石)②	新井
9	4	実技試験対策⑤	実技試験課題の練習(制限時間内での練習)①	新井
10	4	実技試験対策⑥	実技試験課題の練習(制限時間内での練習)②	新井
11	4	実技試験対策⑦	実技試験課題の練習(制限時間内での練習)③	新井
12	4	実技試験対策⑧	実技試験課題の練習(制限時間内での練習)④	新井

特記事項	担当教員と事前に相談の上、「相互科目履修申請書」を提出し、許可を受けた2年生も履修することができる。天候などの理由により実習日程を変更する場合がある。
学生へのメッセージ	1級造園技能士の資格を持つ教員が試験合格に向けての知識・技能を指導します。合格を目指しましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
商品動向リサーチ I		○井上 守☆					 				
授業形態	実習	開講時期	1年前期	時間数	15	区分	必修	分野	マーケティング		
背景と目的		日本で流通する園芸植物は属名ベースで1600属以上といわれている。本科目では、鉢物の取引量で全国1位を誇る豊明花き(株)が2020年に取り扱った約1600品目のうち、春夏期の取扱金額上位の150品目の植物について、学名や原産地や特徴や管理方法について独自の手書きのデータベースを作成する。取り扱い上位の植物から学習することで、現場流通している植物を効率的に学習する。									
到達目標		①春夏期、上位150品目について、学名や原産地や特徴や管理方法などを知る。 ②図鑑やインターネットを利用した植物の調べ方を知る。 ③植物の写真の撮り方の基礎を知る。									
授業外の学習		小売店、ガーデンセンター、公園の花壇において花の名前を意識して見ておくこと。									
評価方法		データベース(30%)、筆記試験(70%)									
教科書		『園芸大図鑑』(ブティック社)									
参考書											
関連する資格		—									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		最初に150品目のリストを配布し、近隣のガーデンセンター(日本ライン花木センター)でリストに該当する植物を探し、写真撮影する。撮影した植物は、花名鑑、学校の図書館やインターネットを利用して、手書きの植物のデータベースを完成させる。最後に150品目について、写真から植物名を同定する確認試験を行う。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	1	植物の調べ方	植物の調べ方、図鑑の見方	井上
2	2	植物の撮影方法	植物撮影の基礎	井上
3	4	花木センターでの写真撮影(5月:春の植物)	キク科、キンポウゲ科などの代表的な春の植物の調査、撮影(目標100品目)	井上
4	2	データベース作成、植物調べ①	データ整理、画像処理等、図鑑による植物調べ	井上
5	4	花木センターでの写真撮影(7月:初夏の植物)	観葉植物など中心に代表的な夏の植物の調査、撮影(目標50品目)	井上
6	1	データベース作成、植物調べ②	データ整理、画像処理等、図鑑による植物調べ	井上
7	1	試験	写真から植物を同定する試験	井上

特記事項	デジカメ(スマートフォン可)が必要。
学生へのメッセージ	データベース作成はボリュームがあり、とても授業時間内には終わらず、家庭学習になりますが、データベースが完成した時は達成感があります。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
植物管理基礎実習Ⅰ		○前田 宝秀、臼田 浩通、吉田 久美子☆、林 誠☆、 相田 明、新井 俊宏☆、井上 守☆、佐藤 智茂☆								
授業 形態	実習	開講 時期	1年 前期	時間数	60	区分	必修	分野	植物管理	
背景と目的		花き生産・花き装飾・造園緑化の各分野において、四季を通じて植物を管理するための知識および技術は必ず習得すべきものである。 本科目では、春・夏期における生産温室、学内花壇、庭園、その他各種花飾り等の日常管理を行うことで、園芸植物管理に不可欠な基礎的技術と知識を習得する。								
到達目標		①春・夏期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。 ②春・夏期における灌水技術を習得する。 ③春・夏期における温室の管理技術を習得する。								
授業外の学習		・実習前に、当日および翌日の天気予報を必ず確認すること。 ・実習後に週間レポート用紙に一週間の気温、天気、実習内容、疑問に思ったこと等を記入し提出すること。								
評価方法		取組姿勢(80%)、レポート(20%)								
教科書		—								
参考書		—								
関連する資格		—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		原則1週間(水曜日～翌週火曜日)を単位として管理実習を行う。学生の班編成を行い、年間計画を作成して実習を行う。学生の班編成は、季節の実習内容や管理するエリア等を考慮して人数を決める。原則として1年生1名に対して2年生1名が組み、担当教員が植物管理について指導を行う。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	8	植物の種類と管理	植物の種類に応じた管理方法	週 担当教員
2	8	土壌と灌水①	土壌の性質と水管理	週 担当教員
3	8	土壌と灌水②	自動灌水と手灌水による管理技術	週 担当教員
4	8	植物の生長・開花①	環境(温度・光・水・風)の変化による植物の生長の違い	週 担当教員
5	8	植物の生長・開花②	植物の特性に応じた環境調節(遮光、保温、暖房等)技術	週 担当教員
6	8	植物の総合管理	花殻摘み・除草などの植物維持管理技術	週 担当教員
7	8	病害虫	病害虫の種類と生態	週 担当教員
8	2	春・夏期の植物管理方法	春・夏期の各エリアの植物管理方法(講義)	週 担当教員
9	2	エリア整備	各エリアの整備を通じた、環境美化意識の向上	週 担当教員

特記事項	年間計画に基づき、おおむね1週間の実習を複数回行う。 祝日及び長期休暇期間中も行う。 実習時間は平日は朝8時から8時45分、夕方16時35分から17時05分まで、祝日及び長期休暇期間中は朝8時30分から9時30分、夕方16時から17時までとする。
学生へのメッセージ	まずは植物を「枯らさない」ことに始まり、「美しい状態で維持管理する」技術の習得を目指します。灌水の技術だけでも3年かかってやっと習得できるという意味で、「水やり三年」という言葉があります。植物の日常的な管理は日々の経験の積み重ねが大切ですので、コツコツと頑張りましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
Global Communication in Horticulture I		○大脇 みどり(非常勤講師)									
授業形態	講義	開講時期	1年前期	時間数	30	区分	必修	分野	国際性		
背景と目的		本講義では2年次の海外視察研修に向けて、現地事情や文化背景に理解を深めるとともに、渡航に関する英語表現を学び、自立的に会話できる力を養う。									
到達目標		① 英語の基本的な文法を反復練習にて習得する。 ② 自己紹介、挨拶等スモールトークができる。 ③ 他国について学ぶ中で、自国や自分自身への理解を深める。 ④ 英文から必要な情報を読み取れる。									
授業外の学習		テスト、コンテスト発表に備えて準備をしておくこと。									
評価方法		取組姿勢(15%)、実技(小テスト、コンテスト)(25%)、筆記試験(60%)									
教科書		『Let's Check Out the UK!』(金星堂)									
参考書		『Wild Flowers』(Usborne Naturetrail)									
関連する資格		実用英語技能検定 2級									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	自己紹介	インタビュー形式で自己表現	大脇
2	2	Day 1 (国名について)①	本文導入の会話文・自己紹介文の作成	大脇
3	2	Day 1 (国名について)②	国名に関する英文読解	大脇
4	2	Day 2 (大衆文化、パブ)①	日常の会話文・英文に関する小テスト(以降ほぼ毎時)	大脇
5	2	Day 2 (大衆文化、パブ)②	パブに関する英文読解	大脇
6	2	Day 3 (自然保護の継承)①	湖水地方での会話文	大脇
7	2	Day 3 (自然保護の継承)②	ナショナルトラストおよびそれにまつわる著名人の英文読解	大脇
8	2	Show & Tell Contest(個人発表)	クラス内にてひとりずつ発表する	大脇
9	2	Day 4 (さまざまな美術館の魅力)①	天候表現を含む会話文	大脇
10	2	Day 4 (さまざまな美術館の魅力)②	美術館を紹介する英文読解	大脇
11	2	Day 5 (現代の人種問題)①	多民族事情導入の会話文	大脇
12	2	Day 5 (現代の人種問題)②	多民族事情に関わる英文読解	大脇
13	2	Day 6 (学生事情)①	日常の会話文・英文法の復習	大脇
14	2	Day 6 (学生事情)②	英国の大学生に関する英文読解・英文法の復習	大脇
15	2	試験	筆記試験	大脇

特記事項	英和辞書・和英辞書を準備すること。授業時に配布するプリントや小テストをしっかりとファイリングすること。理解度により授業内容の進め具合の調整を行うことがある。
学生へのメッセージ	これまでの英語学習を復習しつつ、英国に関する英文を読み、その文化や考え方などを学びましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
イベント販売実習		○井上 守☆、臼田 浩通、前田 宝秀、 吉田 久美子☆、林 誠☆								
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	15	区分	必修	分野	花き生産流通	
背景と目的		本校では、授業で作った鉢物や切花、フラワーアレンジなどを直接販売して、消費者から直に感想や意見を聞く機会を設けてきた。本科目では、学生が制作(生産)した商品を、ぎふワールド・ローズガーデン(岐阜県可児市)にて、野外販売をおこなう事で商品企画、制作、販売、会計、分析など、ビジネス活動における一連の流れを体験する。								
到達目標		①商品企画、商品開発、販売、分析の一連の活動を理解する。 ②商品ディスプレイ、POP作成など、イベント販売における店舗デザインを学ぶ。 ③接客時における接遇やマナーを実践的に体得する。 ④イベントにむけて共働する事によるリーダーシップ、フォロワーシップを学ぶ。								
授業外の学習		POP制作において、園芸関係以外の店舗も日頃から関心をもっておくこと。								
評価方法		取組姿勢(50%)、POPの制作(30%)、レポート(20%)								
教科書		-								
参考書		『あつ、買っちゃった。:一瞬でお客様に反応させる快感マーケティング』(フォレスト社)								
関連する資格		-								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		販売実習においては受講者をA班、B班に分けて、A班が10月28日(土)、B班が10月29日(日)を担当		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	イベントの概要と販売方針	・イベントの概要説明 ・リーダーシップ、フォロワーシップとは ・販売方針決定 ・役割分担	井上、臼田、前田
2	2	VMD(ビジュアル・マーチャンダイジング)	・ゴールデンゾーン、アイキャッチ ・キャッチコピー、看板の効用 ・客の心をつかむPOPとは?	吉田、林
4	2	POSシステム	販売アプリを活用した会計システムの活用	井上
5	8	販売実習	ぎふワールド・ローズガーデンでの販売 10月28日(土) A班 10月29日(日) B班	井上、臼田、前田、吉田、林
6	1	売上データ分析、総括	売上分析、総合評価、レポート提出	井上、臼田、前田

特記事項	販売場所は変更になる事がある。
学生へのメッセージ	イベントに向けて、短期集中で全員で協力する授業です。学生時代の思い出にしてください。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
生産マネジメント実習 I		○臼田 浩通、井上 守、前田 宝秀、嶋津 光鑑(非常勤講師)、落合 正樹、(非常勤講師)水谷 喜輝☆(非常勤講師)					  			
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	60	区分	選択	分野	花き生産流通	
背景と目的		花きの生産現場では、即戦力として計画的に温室管理ができる人材が求められている。本科目では花き栽培温室の管理や、ゼミ会議を通じて、生産現場におけるマネジメント能力の向上を図る。								
到達目標		①施肥設計や品目、品種設定ができる。 ④実習の課題をみつけ、改善することができる。 ②温室の栽培管理ができる。 ③チームワークの重要性を理解する。								
授業外の学習		授業時間外でも、担当温室の生育状況の確認し、適切な管理を行うこと。								
評価方法		取組姿勢(80%)、実習日報(20%)								
教科書		-								
参考書		-								
関連する資格		-								

☆☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		温室の担当者を決め、年間利用計画の作成から栽培管理の実践に取り組み、毎回活動報告書を提出し、業務記録帳のトレーニングを行います。また、ゼミ会議を開催し、温室の状況や必要な作業について確認を行います。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	担当温室利用計画の作成	担当温室の年間利用計画の作成	臼田・井上・前田
2	4	ポットマムの生育評価	各自が育てたポットマムの管理状況を確認評価	水谷・臼田
3	4	担当温室の管理①	ゼミ会議及び栽培品目の管理実践	臼田・井上・前田
4	4	花き生産流通現場の調査	生産流通現場を視察し、花き生産流通の現状と課題を理解する	臼田・井上・前田
5	4	担当温室の管理② 業界紙の輪読①	ゼミ会議及び栽培品目の管理実践、業界紙の輪読	臼田・井上・前田
6	4	担当温室の管理③	ゼミ会議及び栽培品目の管理実践、	臼田・井上・前田
7	4	担当温室の管理④ 業界紙の輪読②	ゼミ会議及び栽培品目の管理実践、業界紙の輪読	臼田・井上・前田
8	4	担当温室の管理⑤	ゼミ会議及び栽培品目の管理実践、	臼田・井上・前田
9	4	担当温室の管理⑥ 業界紙の輪読③	ゼミ会議及び栽培品目の管理実践、業界紙の輪読	臼田・井上・前田
10	4	担当温室の管理⑦	ゼミ会議及び栽培品目の管理実践、	臼田・井上・前田
11	4	担当温室の管理⑧ 業界紙の輪読④	ゼミ会議及び栽培品目の管理実践、業界紙の輪読	臼田・井上・前田
12	4	温室の環境制御を学ぶ	温室管理における環境制御技術	嶋津・落合
13	4	担当温室の管理⑨ 業界紙の輪読⑤	ゼミ会議及び栽培品目の管理実践、業界紙の輪読	臼田・井上・前田
14	4	担当温室の管理⑩	ゼミ会議及び栽培品目の管理実践	臼田・井上・前田
15	4	担当温室管理のふり返り	担当温室の管理の改善点等の検討	臼田・井上・前田

特記事項	授業内容は、各担当温室の状況などにより変更する場合がある。花き生産コース専攻生には強く推奨する。
学生へのメッセージ	自ら温室の管理を行うことやゼミ会議での意識統一などを通じて、マネジメント能力の向上に努めましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
生産課題解決演習 I		○臼田 浩通、井上 守☆、前田 宝秀					  				
授業形態	演習	開講時期	1年後期	時間数	45	区分	選択	分野	花き生産流通		
背景と目的	花きの生産現場では、自ら課題を発見し、解決に導く能力が求められる。そこで、花き生産現場等から掘り起こした課題を設定し、調査研究に取り組むことで課題解決能力を習得する。										
到達目標	①適切な課題研究テーマと調査内容を選択できる。 ②課題研究を通じて課題解決力を身につける。 ③課題研究内容を総括し、正しく伝えることができる。										
授業外の学習	授業時間外でも、課題に取り上げた植物について常に観察を行うこと。										
評価方法	取組姿勢(70%)、活動実績書(30%)										
教科書	-										
参考書	-										
関連する資格	-										

☆☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	学生それぞれが、課題研究テーマを設定して調査・研究を行い、活動実績書としてまとめる。			
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	個別課題研究テーマの検討①	個別課題研究テーマの設定に向けた情報収集	臼田・井上・前田
2	8	個別課題研究テーマの検討②	花き生産者調査による個別課題研究テーマの検討	臼田・井上・前田
3	4	調査計画書の作成	個別課題研究テーマに基づいた調査等計画書の作成	臼田・井上・前田
4	2	個別課題研究の実施①	個別課題の調査及びデータ整理①	臼田・井上・前田
5	2	個別課題研究の実施②	個別課題の調査及びデータ整理②	臼田・井上・前田
6	2	個別課題研究の実施③	個別課題の調査及びデータ整理③	臼田・井上・前田
7	2	個別課題研究の実施④	個別課題の調査及びデータ整理④	臼田・井上・前田
8	2	個別課題研究の中間検討	個別課題の進捗状況の中間検討と見直し	臼田・井上・前田
9	2	個別課題研究の実施⑤	個別課題の調査及びデータ整理⑤	臼田・井上・前田
10	2	個別課題研究の実施⑥	個別課題の調査及びデータ整理⑥	臼田・井上・前田
11	2	個別課題研究の実施⑦	個別課題の調査及びデータ整理⑦	臼田・井上・前田
12	2	個別課題研究の実施⑧	個別課題の調査及びデータ整理⑧	臼田・井上・前田
13	4	活動実績書作成	個別課題の活動実績書の作成	臼田・井上・前田
14	5	個別課題の進捗発表	個別課題の調査取組結果の発表と検討	臼田・井上・前田
15	2	個別課題の見直し	個別課題の見直し	臼田・井上・前田

特記事項	個別課題に取り組むため、進捗状況により授業内容は変更する場合がある。 鉢物、苗物及び切り花などの栽培技術、商品開発、流通技術等に関する課題テーマとする。
学生へのメッセージ	課題の発見、課題解決に向けた試験計画の作成・実行・評価を通じて社会人として必要な課題解決能力を身につけましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
園芸装飾実習Ⅱ		○吉田 久美子☆								
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	選択	分野	花き装飾	
背景と目的		植物は、人々に快適な空間をつくり、美しい街づくりには欠かせない存在となっている。本科目では学外事例を視察し、学内にテーマに合った小ガーデンをグループでコミュニケーションを取りながらデザイン、資材調達、施工、管理、撤去の一連の作業を行い実践的な技術を習得する。								
到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・秋から春にかけての植物の管理方法を理解する。 ・バルコニープランター・ハンギングバスケットの開花調整、メンテナンス方法を習得する。 ・室内園芸装飾作品における基本的テクニックの習得をする。 ・デザイン～施工～植物管理～撤去を、グループで行う事でコミュニケーション力と協調性を習得する。 								
授業外の学習		<ul style="list-style-type: none"> ・学外視察前に、デンパークの概要を図書室の『安城産業文化公園デンパーク花とみどりの20年』に目を通すこと。 ・授業で制作したバルコニープランター・ハンギングバスケットは、常時観察・管理すること。 ・グループごとにデザインなどの打ち合わせをすること。 								
評価方法		取組姿勢(50%)、提出物(20%)、制作作品(30%)								
教科書		—								
参考書		『安城産業文化公園デンパーク花とみどりの20年』(公益財団法人安城都市農業振興協会)								
関連する資格		2級・3級園芸装飾技能士								

☆☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		学外調査にて園芸装飾事例の計画方法や手法の調査を行い、グループに分かれ制作した小ガーデンを学内に展示し、管理を行う。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	8	装飾事例調査(学外)	装飾事例の視察調査(安城産業文化公園デンパーク)	吉田
2	4	家庭園芸基礎 寄せ植え応用	球根の種類と分類と植栽方法 バルコニープランターとハンギングバスケットの制作と管理方法	吉田
3	2	室内園芸装飾①	室内園芸装飾における植物の管理方法 テーマとコンセプト	吉田
4	4	室内園芸装飾②	計画・イメージ図からのプレゼンテーション・資材調達	吉田
5	4	室内園芸装飾③	準備・鉢物調達	吉田
6	8	室内園芸装飾④	制作・作品講評	吉田

特記事項	授業時間外においても制作物の管理及びメンテナンスを行うこと。 実習にふさわしい服装でハサミを持参すること。
学生へのメッセージ	『園芸装飾実習Ⅰ』で学んだ技術を基本に本科目では実践的なテクニックを身につけましょう。

科 目		担当教員(○主担当)						主なSDGs			
フラワーデザイン実習Ⅱ		○林 誠☆、吉田 久美子☆、中西 裕子☆(非常勤講師)、國井 理佐☆(非常勤講師)									
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	60	区分	選択	分野	花き装飾		
背景と目的	フローリストの仕事の中で、季節や行事、イベントに関連する仕事は不可欠である。本科目では、様々な季節や行事、イベントに特化した作品(商品)づくりに取り組むことにより、フローリストとして、クライアントの要望に応えられる知識や技術の引き出しを増やす事を目的とする。										
到達目標	①自ら花材を選びイメージを形にできる。 ②季節の商品が制作できる。 ③花に関わる季節行事を知る。										
授業外の学習	・実習で学んだ技術を復習しておくこと。 ・制作物のメンテナンス・撤去は授業時間外でも行うこと。 ・各自生花店へ行き、花材を調達すること。										
評価方法	取組姿勢(50%)、実技(50%)										
教科書	『フラワーデザイナーのための花の教科書』(講談社)										
参考書	『フローリスト』(誠文堂新光社)、『花時間』(株式会社KADOKURA)、 『NFDウェディングフラワーコーステキスト』(日本フラワーデザイナー協会)										
関連する資格	2級・3級フラワー装飾技能士										

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	デモンストレーションを参考に作品を制作する。 デザイン・コンセプトを自ら考え作品を制作する。			
授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	ウェディング装花①	ヘアーオーナメント	國井
2	4	季節の商品ハロウィン	グルーピングテクニック・ハロウィンアレンジメント	林
3	4	鉢のラッピングと寄鉢	ポット鉢の組み合わせ・ラッピング	吉田
4	4	ブリザーブドフラワーとドライフラワーの応用	パウダーフォーム・ハーバリウム	中西
5	4	季節の商品・クリスマス①	テーブルコーディネート・クリスマスのアレンジメント	中西
6	4	季節の商品・クリスマス②	花に関わる季節行事・スワッグ	林
7	4	季節の商品・クリスマス③	クリスマスリース	林
8	4	季節の商品・正月	しめ縄・正月のアレンジメント(グロースオブハビット)	吉田・林
9	4	アレンジメントの応用①	異なる素材の組み合わせ・BOXアレンジメント	林
10	4	アレンジメントの応用②	クレッセント・ホガース	林
11	4	花束の応用	スパイラルテクニック(一方見・四方見)	林
12	4	ウェディング装花②	キャスケードブーケ	林
13	4	ウェディング装花③	クレッセントブーケ	國井
14	4	ブリザーブドコサージュ	卒業式に向けたブリザーブドコサージュ制作	林・吉田
15	4	試験	実技(花束・アレンジメント制作)	林
特記事項	実習にふさわしい服装で受講すること。 花き装飾コース専攻生には強く推奨する。			
学生へのメッセージ	商品制作を通してフラワーデザインのテクニックや知識を習得し作品の幅を広げましょう。			

科 目		担当教員(○主担当)						主なSDGs	
花修景実習Ⅱ		○相田 明、新井 俊宏☆、上野 恵☆(非常勤講師)						   	
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	必修	分野	造園緑化
背景と目的	『花修景実習Ⅰ』に続き、本館と研修教育棟、ボーダーガーデン、そして学外のぎふワールド・ローズガーデンを実習地とし、一・二年草や球根、宿根草を活用した植栽計画・管理の習得を目的とする。								
到達目標	①植物の植栽管理を通じて、継続的に記録することができる。 ②花壇の計画ができる。 ③一年草、球根、宿根草、樹木などの名前や管理方法を理解することができる。								
授業外の学習	季節ごとに咲く花に関心を持ち、写真を撮るなどして変化を観察すること。								
評価方法	取組姿勢(50%)、提出物(50%)								
教科書	『宿根草でつくる自分好みの庭』(NHK出版)								
参考書	『ガーデン植物大図鑑』(講談社)								
関連する資格	—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	学内の実習では講義や実習内容の説明をした後(1時間程度)、実習を行う。ぎふワールド・ローズガーデンの実習ではバスを利用し移動する。			
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	秋花壇の管理・補植	ぎふワールド・ローズガーデンの視察(実習フィールドなど)、秋花壇の管理・補植(ぎふワールド・ローズガーデン)	上野・新井
2	4	春花壇の土壌改良と植栽	夏花壇の撤去と土づくり、植栽(学内)	相田
3	4	春花壇・ボーダーガーデンの管理①	花から摘みと宿根草の管理(学内)	相田
4	8	春花壇の植栽	一年草、球根などの植栽(ぎふワールド・ローズガーデン)	上野・新井
5	4	春花壇・ボーダーガーデンの管理②	花から摘みと宿根草の切り戻し(学内)	相田
6	4	春花壇・ボーダーガーデンの管理③	花から摘みと宿根草の掘り上げ(学内)	相田
7	2	春花壇・ボーダーガーデンの管理④	花から摘みと樹木の管理(学内)	相田

特記事項	実習ではハサミ、手袋、帽子、作業しやすい服装が必要。
学生へのメッセージ	ボーダーガーデンは日々変化する庭です。日々管理しなければ、維持することができない庭です。四季の変化のあるボーダーガーデンをつくりましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
造園施工・管理実習Ⅱ		○新井 俊宏☆、池上 東平☆(非常勤講師)、浅野 洋一☆(非常勤講師)、西垣 直人☆(非常勤講師)					   				
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	60	区分	選択	分野	造園緑化		
背景と目的		『造園施工・管理実習Ⅰ』に引き続き、潤いとやすらぎのある造園空間を創造するための基礎的な知識、技術、センスの習得を目指す。 施工実習および管理実習ともに『造園施工・管理実習Ⅰ』同様、自然材料や加工材料を用いた造園施設の制作、学内庭園や植物について時期や生育特性に合わせた管理方法、樹木病害虫の防除方法などについて学ぶ。									
到達目標		①造園植物(樹木、下草、芝生など)の生育特性を踏まえた管理方法を習得する。 ②造園施設(景石、延べ段など)の施工方法を習得する。 ③グループでの実習作業を行う際に、コミュニケーションを取りながらチームワークの重要性を理解する。									
授業外の学習		・学内造園空間のエリア管理を必要に応じ行うこと。 ・「Landscape Design」、「庭」、環境緑化新聞等を読むこと。									
評価方法		取組姿勢(70%)、提出物(30%)									
教科書		『造園施工必携』(日本造園組合連合会)									
参考書		『造園技術ハンドブック』(誠文堂新光社)									
関連する資格		2級・3級造園技能士、2級造園施工管理技士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		学内の庭園や植栽地及び学外(ぎふワールド・ローズガーデン)の実習フィールドにおいて、造園施工作業及び造園管理作業の実習を行う。毎回、実習の内容を野帳に記して翌日提出すること。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	造園管理①	実習フィールド造園エリアの管理(学外)	新井
2	4	造園管理②	本館アプローチ花壇の植栽	新井
3	4	造園管理③	樹木の点検・診断	西垣
4	4	造園施工①	ロックガーデンの施工	新井
5	4	造園施工②	ロックガーデンの植栽	新井
6	4	造園管理④	常緑樹、落葉樹の剪定	池上
7	4	造園管理⑤	本館前庭園の管理	新井
8	4	造園管理⑥	常緑樹(マツ)の管理	池上
9	4	造園管理⑦	世界のバラ園前、花トピア前小庭園の管理(学外)	新井
10	4	造園管理⑧	落葉樹の剪定	新井
11	4	造園管理⑨	落葉樹(バラ)の冬季剪定	浅野
12	4	造園施工③	樹木の移植(高木)、植栽基盤の土壤改良①	新井
13	4	造園施工④	樹木の移植(高木)、植栽基盤の土壤改良②	新井
14	4	造園施工⑤	チェーンブロックによる景石の据え付け	池上
15	4	造園施工⑥	延段の施工	池上

特記事項	実習時は作業着、グローブ、保護帽などを着用すること。天候などの理由により実習内容を変更する場合がある。
学生へのメッセージ	造園の基本的な知識や技術、センスをこの授業でしっかり身につけてください。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
測量実習		○新井 俊宏☆					   				
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	選択	分野	造園緑化		
背景と目的		測量は造園のみならず社会インフラ整備には欠かせない技術である。その中で、造園施工で必要となる平板測量、水準測量など最低限の知識を身につけることを目的とする。									
到達目標		①測量機器の操作方法、測量データの整理方法を習得する。 ②平板測量、水準測量、地形測量の技術を習得する。 ③設計図から現場に位置出しができ、丁張を設置することができる。									
授業外の学習		造園空間のスケール感を身につけること。									
評価方法		取組姿勢(50%)、提出物(50%)									
教科書		『造園施工必携』(日本造園組合連合会)									
参考書		-									
関連する資格		2級造園施工管理技士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		教科書や配布資料に沿って実習の説明を行った後、グループに分かれて測量を行う。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	測量の基礎知識	測量の基礎、学内の距離測量	新井
2	4	平板測量	平板測量の理論、学内の平板測量	新井
3	4	水準測量	水準測量の理論、学内の水準測量、成果簿の作成	新井
4	4	地形測量①	平板測量と水準測量による地形測量	新井
5	4	地形測量②	実測平面図、断面図の作成	新井
6	4	トータルステーション操作	トータルステーションの据え付け、観測方法	新井
7	2	起工測量、丁張設置①	起工測量と丁張の設置方法	新井
8	4	起工測量、丁張設置②	学内での起工測量、丁張設置	新井

特記事項	造園緑化コース専攻生に強く推奨する。 『製図実習』と『造園施工・管理実習Ⅱ』と同時に履修することを強く推奨する。
学生へのメッセージ	測量は土木、建築においても重要な技術であり、造園のみならず建設に関する仕事には欠かせないものであり、現場実務経験を持つ教員が実際の現場で役に立つ知識、技術を講義、実習指導します。 基本的な測量技術を身につけましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
製図実習		○新井 俊宏☆					4	11	13	15
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	選択	分野	造園緑化	
背景と目的	造園空間を施工する上で必要となる各種図面は、デザイナーの意図を明確に伝える役割を持ち、コミュニケーションを図るためのものである。そのために必要な設計作図技術の基本を学ぶ。									
到達目標	①造園に関わる基本的な設計・図面に関する事柄を理解できる。 ②平面図や立面図など造園に関わる図面を描ける。 ③スケール感を身につける。									
授業外の学習	普段から風景をスケッチしたり線を引く練習を行い、描画力の向上に努める。									
評価方法	取組姿勢(50%)、提出物(50%)									
教科書	『造園施工必携』(日本造園組合連合会)									
参考書	『造園図面の表現と描法1・2』(誠文堂新光社)									
関連する資格	2級造園施工管理技士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		教科書や配布資料に沿って実習の説明を行った後、各自製図を行う。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	製図実習①	製図用具の種類と取り扱い、図面の種類と描き方	新井
2	4	製図実習②	図面と縮尺、文字・数字の書き方、造園樹木の平面図の表現	新井
3	4	製図実習③	造園樹木の立面図の表現方法	新井
4	4	製図実習④	造園計画平面図(住宅庭園)の表現方法、着彩①	新井
5	4	製図実習⑤	各種構造図の製図	新井
6	4	製図実習⑥	アクソメ図またはパース図の作成	新井
7	2	製図実習⑦	造園計画平面図(街区公園レベル)の表現方法、着彩②	新井
8	4	製図実習⑧	造園計画平面図(総合公園レベル)の表現方法、着彩③	新井

特記事項	造園緑化コース専攻生に強く推奨する。『測量実習』と『造園施工・管理実習Ⅱ』と同時に履修することを強く推奨する。
学生へのメッセージ	現場実務経験を持つ教員が実際の現場で役に立つ知識、技術を講義、実習指導します。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
CAD製図実習		○相田 明、堀部 裕美子☆(非常勤講師)					  				
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	選択	分野	造園緑化		
背景と目的		文章を手書きではなくパソコンを用いて書くように、造園の設計図もパソコンを利用する時代となっている。設計図を描くソフトウェアであるCADによる作図の基礎を学び、今後の造園設計に役立てることを目的とする。									
到達目標		①CADによる2D図面が作成できる。 ②CADによる3D図面が作成できる。									
授業外の学習		造園空間がどのような寸法で出来ているか普段から観察すること。									
評価方法		取組姿勢(40%)、提出物(60%)									
教科書		『はじめてのVectorworks』、『Vectorworks3Dのスタート』(A&A)									
参考書		—									
関連する資格		Vectorworks操作技能認定試験									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		PCを使用して、実際にCADソフトを操作しながら実施する。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	CADとは	手書きによる製図とCAD・エクステリア用CAD	相田
2	4	VectorWorksの基礎	起動から新規作成・保存、レイヤとクラス	相田
3	4	作図の基本	トレーニング 直線・ダブルライン、四角形・斜め四角の描画、多角形、正四角形、曲線・フリーハンド図形の描画	相田
4	4	2D図形の編集	多角形の編集・消しゴムツール、フィレット・面取り・オフセット、回転ツール・ミラー反転ツール・パス複製ツール	相田
5	4	2D図面の実践トレーニング①	図面の制作(3級造園技能士施工図)	相田
6	2	2D図面の実践トレーニング②	図面の制作(2級造園技能士施工図)	相田
7	8	3D図形の編集	柱状体・錘状体・多段柱状体を使って描画、3D図面の制作	堀部・相田

特記事項	『製図実習』の履修者、もしくは製図の基礎を理解している学生を対象とする。岐阜県農業大学校の情報処理室で実施する。
学生へのメッセージ	CADのソフトウェアは操作が複雑で難しいと感じるかもしれませんが、しかし、一度覚えると卒業制作などの図面を修正するとき便利なことが実感できると思います。

科 目		担当教員(○主担当)					SDGs			
商品動向リサーチⅡ		○井上 守☆					 			
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	15	区分	必修	分野	マーケティング	
背景と目的	『商品動向リサーチⅠ』に続き、『商品動向リサーチⅡ』では、豊明花き(株)が2020年に取り扱った約1600品目のうち、秋冬期の取扱金額上位の150品目の植物を学習する。商品動向リサーチⅠで学習した150品目を合わせた、300品目について、デジタルデータベースを作成する。									
到達目標	①秋冬期、上位150品目について、学名や原産地や特徴や管理方法などを知る。 ②MSエクセルを使った画像情報を含むデジタルデータベースを完成する。									
授業外の学習	小売店、ガーデンセンター、公園の花壇において花の名前を意識して見ておくこと。									
評価方法	データベース(20%)、試験(80%)									
教科書	『園芸大図鑑』(ブティック社)									
参考書	—									
関連する資格	—									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	タブレット端末を使い、上位300品目についてデジタルデータベースを完成させる。			
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	花木センターでの写真撮影 (10月:秋の植物)	秋の植物の調査、撮影(目標70品目)	井上
2	2	データベース作成、植物調べ①	データ整理、Google lensの使い方	井上
3	4	花木センターでの写真撮影 (11月:晩秋の植物)	秋、冬の植物の調査、撮影(目標70品目)	井上
4	2	データベース作成、植物調べ②	データ整理、画像処理等、図鑑による植物調べ	井上
5	2	花木センターでの写真撮影 (1月:晩秋の植物)	新春の植物の調査、撮影(目標10品目)	井上
6	1	試験	『商品動向リサーチⅠ』の150品目と合わせた300品目において、写真から植物名を同定する試験を行う	井上

特記事項	デジカメ(スマートフォン可)が必要。
学生へのメッセージ	『商品動向リサーチⅠ、Ⅱ』で、1年かけて多くの植物に触れ、若いうちに集中して植物を覚える経験は非常に貴重なものです。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
商品開発演習		井上 守☆					 				
授業形態	演習	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	選択	分野	マーケティング		
背景と目的		商品開発は商品企画とは似て非なるものである。商品企画とは独自のアイデアで潜在的なニーズを掘り起こし、実現すべきモノ・ゴトの内容を考えその実現に向けて計画を立てることである。一方、商品開発は商品企画で出来上がった企画を、資金面、物流面、時間など現実的な条件を加味して、実際に商品として形にすることである。本科目では、学校での自身の学習活動の中からテーマを見つけ商品企画を行い、SWOT分析など活用し他の授業と連携して、リアリティのある商品開発に挑戦する。									
到達目標		①園芸業界での商品開発の実際を知る。 ②SWOT分析ができる。 ③学校での学習活動の中から、アイテムを見つけ商品開発に挑戦する。									
授業外の学習		園芸店やHCなどの園芸商品の中で、斬新な提案に着目する。									
評価方法		取組姿勢(20%)、プレゼンテーション(80%)									
教科書		—									
参考書		『センスは知識からはじまる』(朝日新聞出版)									
関連する資格		—									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		園芸業界の見本市に積極的に参加すること、県内生産者をSWOT分析することで、商品開発の実際を知ることから、自身の商品開発につなげていく。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	商品企画①	ターゲットの絞り込み(セグメンテーションとポジショニング)	井上
2	2	商品企画②	「顕在ニーズ」と「潜在ニーズ」	井上
3	2	商品開発①	シーズの整理とSWOT分析	井上
5	8	学外視察 豊明花き(株)トレードフェア見学	日本最大の花きトレードフェアに参加。全国の優良生産者の商品展示から、流行の最先端の植物やその品質を学習する。	井上
6	2	トレードフェア報告会	各自のテーマに応じた発表	井上
7	2	商品開発②	現地調査(県内花き生産者を訪問しSWOT分析)	井上
8	4	商品開発③	現地調査(花き生産者を訪問しSWOT分析)	井上
9	4	商品開発④	分析結果の発表	井上
10	4	プレゼンテーション	商品開発案の発表	井上

特記事項	豊明花き(株)のトレードフェア視察は、変更する事もある。
学生へのメッセージ	中国の古いことわざに「心ここに在らざれば、みえども見えず、…」という一節があります。商品開発で一番重要なのは、まさにこのことです。発想を柔軟にして心のアンテナを張り巡らすことです。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
キャリアデザイン I		○佐藤 智茂☆、今西 良共☆、村脇 恵理☆(非常勤講師)、高木 雄基☆(非常勤講師)、安保 有美☆(非常勤講師)								
授業形態	講義	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	必修	分野	マネージメント	
背景と目的		人生100年時代を生きる若者は、働き方もこれまで標準(モデル)とされている形態から大きく変化する可能性が指摘されている。本科目を受けた学生が、自らの勤労観や職業観を育み、進級卒業に向けて学業とともに就職活動へ積極的に取り組み、またより良い働き方生き方を考えられるようになることを目的とする。								
到達目標		①自身の現在の『社会人基礎力』を知り、伸ばす努力を行えるようになる。 ②自らの勤労観や職業観を養う。								
授業外の学習		『1週間の活動履歴ポートフォリオ(学習活動日記)』の記入→提出→返却(見返し)								
評価方法		取組姿勢(40%)、提出物(30%)、課題レポート(30%)								
教科書		—								
参考書		—								
関連する資格		—								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	導入講義	職業人生(キャリア)を描く(デザイン)するとはどういうことなのか考える	佐藤
2	2	社会人基礎力診断受検	社会人基礎力の解説、試験内容説明、診断受検	佐藤
3	4	社会人マナー講座	社会人として身に着けておきたいマナーについて	村脇
4	2	働くことへの視点①	働くこととキャリアの展開について考察	佐藤
5	2	働くことへの視点②	著名な起業家のスピーチを通して、働くこととキャリアの形成について考察	佐藤
6	2	社会人基礎力診断の振り返り	診断結果の確認とワークシートの作成	佐藤
7	2	金融リテラシーの基礎	「稼ぐ」、「使う」、「備える」について	佐藤
8	2	人生設計シミュレーション①	生活設計プラン疑似体験(～30代まで)	佐藤
9	2	人生設計シミュレーション②	生活設計プラン疑似体験(～60代まで)	佐藤
10	2	職業園芸人になる①	アカデミー卒業後の私のキャリア①	安保
11	2	職業園芸人になる②	アカデミー卒業後の私のキャリア②	高木
12	2	就職活動について①	就職活動に関する情報提供①(スケジュール等全般的な流れ)	佐藤
13	2	就職活動について②	就職活動に関する情報提供②(自己分析・会社説明会、ES等)	佐藤
14	2	学長講義	『私の職業人生』	今西

特記事項	非常勤講師の講義は講師都合等による開講日、順序の変更の可能性がある。
学生へのメッセージ	人生100年時代を生きる皆さん、長い道のりの中で大きな部分を占めるであろう“働く”ことについて、自分なりの考え方を育てよう、一緒に学びましょう。

科 目		担当教員(○主担当)						主なSDGs			
起業・経営シミュレーション		○佐藤 智茂☆									
授業形態	講義	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	必修	分野	マネージメント		
背景と目的		経営(英語ではマネジメントと言います)という言葉には「人と人が協力して行う活動をよりよいものにするための工夫」という意味があります。卒業後に社会人の一員として勤労を通して事業活動を担い、そして工夫を実践するために必要な学問である『経営学』の基本的な知識を学びます。									
到達目標		①経営学の基本的な知識を習得する。 ②企業、組織の経営について、経営学の基本的な理論を用いて考えることができる。									
授業外の学習		新聞を読み、社会経済の動静に関心を持つよう努めること。									
評価方法		取組姿勢(30%)、小テスト(20%)、筆記試験(50%)									
教科書		—									
参考書		『イチから学ぶビジネス[改訂版]—高校生・大学生のための経営学入門』(創成社)									
関連する資格		—									

☆☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	経営学の要点①	経営学の始まりと変遷	佐藤
2	2	経営学の要点②	『経営資源』とは何か	佐藤
3	2	会社を理解する①	株式会社の成り立ちと仕組み	佐藤
4	2	会社を理解する②	「株式会社をつくらう！」①	佐藤
5	2	会社を理解する③	「株式会社をつくらう！」②	佐藤
6	2	会社を理解する④	協力して活動し目的を達成する『組織』	佐藤
7	2	会社を理解する⑤	動機付け、リーダーシップ、組織のかたち	佐藤
8	2	市場を理解する①	マーケティングの基本(歴史、顧客、3C)	佐藤
9	2	市場を理解する②	マーケティングの基本(STP、4P)	佐藤
10	2	市場を理解する③	マーケティングの基本(ケース教材を使ったディスカッション)	佐藤
11	2	会計を知る①	会計と説明責任(記録、報告)	佐藤
12	2	会計を知る②	簿記とは	佐藤
13	2	会計を知る③	決算書の仕組み	佐藤
14	2	まとめ	これまでの振り返り	佐藤
15	2	試験	筆記試験	佐藤

特記事項	参加者全員で双方向的な授業を行う。問いかけや議論では積極的な発言を望む。
学生へのメッセージ	松下幸之助(パナソニック株式会社創業者)は「個人の人生も家庭生活も1つの『経営』である」と捉えていました。私たちがより良く生き、働くために活かす『経営』学を学びましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
園芸色彩学		○相田 明、荻原 温子☆(非常勤講師)、 吉田 久美子☆、林 誠☆								
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	選択	分野	文化・利用	
背景と目的		<p>成熟社会を向かえ、企業は商品の品質や性能を高めるだけでなく、商品のデザイン性を高める事が販売につながる事に気付き始めている。今後経営に求められるものが、理論、効率に代表されるサイエンスから、感性や美意識によるアートになることが予想される。そこで、本科目では商品デザイン力を高めるために、デザインの基礎である色彩について、商品デザインと造園空間に特化した色彩について学習する。</p> <p>園芸専門のカラーコーディネーターを招聘して色彩の基本的な理論から、ブーケ制作、造園と色彩テーマにした事例を学習などを通して園芸における色彩を総合的に学ぶ。</p>								
到達目標		<p>①色彩学の基本的な知識と花と緑における色彩について理解する。 ②花き装飾における色彩について理解する。 ③造園緑化における色彩について理解する。</p>								
授業外の学習		店舗の装飾、企業広告の色使いなど、日頃から色彩を意識すること。								
評価方法		取組姿勢(20%)、提出物(30%)、筆記試験(50%)								
教科書		—								
参考書		—								
関連する資格		色彩検定協会 色彩検定3級								

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		<p>フラワーカラーセラピーでは、実際にアレンジメントを制作します。 植物カラーコーディネートにおいては、植物に合う鉢色を選択し商品を作成させて、コンセプトを発表します。</p>		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	園芸における色彩とは	色彩とは？ 今後の園芸における色彩の重要性について 園芸におけるカラーコーディネート	荻原
2	4	カラーマーケティング	人の嗜好と売れる色彩 植物の色が及ぼす生理的・心理的影響	荻原
3	4	パーソナルカラー	人に似合う色を知る。プライダルフラワーカラー	荻原
4	4	フラワーカラーセラピー・花色心理	フラワーカラーセラピーによるフラワーアレンジ制作。作品の観察、深層心理分析	荻原
5	4	植物カラーコーディネート	カラーチャートによる植物の色の”虫の目観察“ ・鉢色の違いによる商品性実習(24色ポリポット、花苗使用)	荻原
6	4	花色とラッピング	イエローアンダートーンとブルーアンダートーン イメージワードから受ける色による花束&ラッピング	吉田・林
7	4	造園空間における色彩	庭園、公園、景観における色彩の考え方 景観法と景観色彩ガイドライン、色彩計画	相田
8	2	試験	筆記試験	相田

特記事項	カラーチャート、ノリ、ハサミ、切花用ハサミが必要。
学生へのメッセージ	園芸分野に特化した色彩学は全国でも珍しい授業です。園芸専門のカラーコーディネーター荻原講師は、花き生産者や花き関連企業のデザインアドバイザーとしての実績が多数あり、業界関係者(プロ)が学ぶ先生です。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
いけばな		○片倉 佳容☆(非常勤講師)								
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	15	区分	選択	分野	文化・利用	
背景と目的		いけばなは1000年以上の歴史を持つ日本の伝統的な園芸文化でありながら、現代はいけばなを楽しむ人や伝統を受け継ぐ人が減少している。本科目では伝統的な園芸文化であるいけばなを専門講師から基礎を学び、実際に制作する事によって、いけばなの精神性や芸術性に触れその魅力を継承することを目的とする。								
到達目標		①いけばなの歴史を知る。 ②いけばなの基本的実技を習得する。								
授業外の学習		園芸において、日本文化に関りの深いニュースや新聞記事には注目しておくこと。								
評価方法		取組姿勢(50%)、制作物(50%)								
教科書		—								
参考書		『池坊花傳書 入門』(華道家元池坊総務所) 『現代いけばな花材辞典』(草月出版)								
関連する資格		池坊入門								

☆☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		デモンストレーションを参考にいけばなを生ける。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	いけばなの基本 生花 自由花	時代、文化、建築の変化といけばなの関り 花材の見つめ方、花と人の心の触れ合いと自然との対話 池坊生花の花型と種類 季節の花材の特性を生かした創作	片倉
2	4	生花 自由花	池坊生花の花型と種類 行事や季節の花材の特性を生かした創作	片倉
3	4	生花 自由花	池坊生花の花型と種類 行事や季節の花材の特性を生かした創作	片倉
4	3	自由花 まとめ・試験	花材の特性を生かした創作、評価	片倉

特記事項	実習にふさわしい服装で受講すること。
学生へのメッセージ	日本の誇るべき『いけばな』を受け継ぎ、継承していきましょう。

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
園芸福祉論・実習		○相田 明、石神 洋一☆(非常勤講師)、吉長 成恭☆ (客員教授)									
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	選択	分野	文化・利用		
背景と目的		農業や園芸には、環境保全や生活の楽しみ・文化を担うといった側面がある。これらの多面的機能を利用した園芸療法や園芸福祉は、人々にゆしみや癒しを与え、QOL(生活の質)の向上に役立つ。本科目では講義と実習によりこの分野の理解を含め、実際の活動を主体的に展開するための知識と計画立案について学ぶ。									
到達目標		①福祉施設における園芸福祉プログラムを立案することができる。 ②ハーブを取り入れた園芸福祉プログラムを立案することができる。 ③地域における園芸福祉プログラムを立案することができる。									
授業外の学習		園芸福祉の考え方を普段の生活に取り入れること。									
評価方法		取組姿勢(40%)、提出物(60%)									
教科書		『園芸福祉入門』(創森社)									
参考書		—									
関連する資格		初級園芸福祉士									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		基本的に2コマ連続で授業を実施し、講義と実習を行う。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	園芸福祉とは、施設視察	園芸福祉とは、園芸福祉プログラム立案のための福祉施設の視察	相田
2	8	園芸福祉の活動とは、活動を地域のなかに普及する	その活動と現代的意義、園芸福祉と心身への効果、活動プログラム立案	石神・相田
3	4	コミュニティづくりに生かす	地域から始める園芸福祉活動、活動プログラムの実施	相田
4	4	植物をよく知り活用しよう	園芸福祉にかかわる植物の種類と育て方、レイズドベッド(立ち上げ花壇)における実習	相田
5	4	ハーブの利活用	ハーブの種類と栽培方法と利用方法、ドライハーブを利用したセッション。アロマテラピーの歴史・効能・精油、精油を利用したセッション、活動プログラムの立案	相田
6	4	誰もが楽しめるプログラム	地域で展開する多彩な実践、活動プログラムの立案	相田
7	2	園芸福祉活動の事例	様々な園芸福祉活動	吉長

特記事項	単位取得者は、初級園芸福祉士養成講座認定校修了証が交付され、初級園芸福祉士の受験資格を得ることができる。受講者は受験することを目標とする。試験日は2月中旬の予定である。
学生へのメッセージ	園芸福祉とは農園芸活動を通じた幸福(ウェルビーイングwell-being)の増進です。ウェルビーイングについて関心が高まりつつある今、活用が期待される分野です。

科 目		担当教員(○主担当)						主なSDGs			
植物管理基礎実習Ⅱ		○前田 宝秀、臼田 浩通、吉田 久美子☆、林 誠☆、相田 明、新井 俊宏☆、井上 守☆、佐藤 智茂☆									
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	必修	分野	植物管理		
背景と目的		花き生産・花き装飾・造園緑化の各分野において、四季を通じて植物を管理するための知識および技術は必ず習得すべきものである。 本科目では、秋・冬期における生産温室、学内花壇、庭園、その他各種花飾り等の日常管理を行うことで、園芸植物管理に不可欠な基礎的技術と知識を習得する。									
到達目標		①秋・冬期における植物の種類による管理方法の違いを理解する。 ②秋・冬期における灌水技術を習得する。 ③秋・冬期における温室の管理技術を習得する。									
授業外の学習		・実習前に、当日および翌日の天気予報を必ず確認すること。 ・実習後に週間レポート用紙に一週間の気温、天気、実習内容、疑問に思ったこと等を記入し提出すること。									
評価方法		取組姿勢(80%)、レポート(20%)									
教科書		—									
参考書		—									
関連する資格		—									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方		原則1週間(水曜日～翌週火曜日)を単位として管理実習を行う。学生の班編制を行い、年間計画を作成して実習を行う。学生の班編制は、季節の実習内容や管理するエリア等を考慮して人数を決める。 担当教員が植物管理について指導を行う。		
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	4	植物の種類と管理	植物の種類に応じた管理方法	週担当教員
2	4	土壌と灌水①	土壌の性質と水管理	週担当教員
3	4	土壌と灌水②	自動灌水と手灌水による管理技術	週担当教員
4	4	植物の生長・開花①	環境(温度・光・水・風)の変化による植物の生長の違い	週担当教員
5	4	植物の生長・開花②	植物の特性に応じた環境調節(遮光、保温、暖房等)技術	週担当教員
6	4	植物の総合管理	花殻摘み・除草などの植物維持管理技術、病害虫の種類と生態	週担当教員
7	2	秋・冬期の植物管理方法	秋・冬期の各エリアの植物管理方法(講義)	週担当教員
8	4	エリア整備	各エリアの整備を通じた、環境美化意識の向上	週担当教員
特記事項		年間計画に基づき、おおむね1週間の実習を複数回行う。 祝日及び長期休暇期間中も行う。 実習時間は10月の平日は朝8時から8時45分、夕方16時35分から17時05分まで、11月以降の平日は朝8時15分から8時45分、夕方16時35分から17時05分までとする。祝日及び長期休暇期間中は朝8時30分から9時、夕方16時から16時30分までとする。		
学生へのメッセージ		まずは植物を「枯らさない」ことに始まり、「美しい状態で維持管理する」技術の習得を目指します。灌水の技術だけでも3年かかってやっと習得できるという意味で、「水やり三年」という言葉があります。植物の日常的な管理は日々の経験の積み重ねが大切ですので、コツコツと頑張りましょう。		

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs				
Global Communication in Horticulture II		○大脇 みどり(非常勤講師)					  				
授業形態	講義	開講時期	1年後期	時間数	30	区分	必修	分野	国際性		
背景と目的		本科目では前期に引き続き、2年次の海外視察研修に向けた準備として、想定される各場面での意思伝達、自己発信ができることを目的とする。									
到達目標		① 旅先での基本的な英会話を習得する。 ② イギリスの文化、風習を知る。 ③ 自分の専攻分野やその内容、日本の園芸文化について英語で情報発信できる。									
授業外の学習		テスト、コンテスト発表に備えて準備しておくこと。									
評価方法		取組姿勢(10%)、実技(小テスト、コンテスト)(20%)、筆記試験(70%)、									
教科書		『Let's Check Out the UK!』(金星堂)									
参考書		『Wild Flowers』(Usborne Naturetrail)									
関連する資格		実用英語技能検定 2級									

※☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	About Summer Vacation	長期休暇中に関する英作文	大脇
2	2	Day 8 (現代の料理事情)①	レストランでの会話文・コンテスト準備(機内での会話)	大脇
3	2	Day 8 (現代の料理事情)②	フィッシュ&チップ、英国内の食事情等の英文読解	大脇
4	2	Day 9 (本島北部事情)①	英国内の英語事情に関する会話文・税関での会話	大脇
5	2	Day 9 (本島北部事情)②	エディンバラ事情	大脇
6	2	Day 10 (フェアトレードの存在)①	店内での会話文・レストランや買い物での会話	大脇
7	2	Day 10 (フェアトレードの存在)②	フェアトレード事情の英文読解	大脇
8	2	Conversation Contest①	発音練習・リハーサル	大脇
9	2	Conversation Contest②	本番	大脇
10	2	Day 11 (交通事情)①	ロンドンタクシーに関する会話文	大脇
11	2	Day 11 (交通事情)②	英国タクシー運転手についての英文読解	大脇
12	2	Writing Task	クリスマスカードの作成	大脇
13	2	Day 14 (シェークスピアについて)①	大劇作家シェークスピアに関する会話文	大脇
14	2	Day 14 (シェークスピアについて)②	シェークスピアの作品に関する英文読解	大脇
15	2	試験	筆記試験	大脇

特記事項	英和辞書・和英辞書を準備すること。授業時に配布するプリントや小テストをしっかりとファイリングすること。理解度により授業内容の進め具合の調整を行うことがある。
学生へのメッセージ	英国を学ぶことで、日本や自分たちの考え方も振り返ってみましょう。また、イギリス研修中の場面想定をした会話を通して、自己表現の楽しさを味わいましょう!

科 目		担当教員(○主担当)					主なSDGs			
インターンシップ I		○各コース担当教員								
授業形態	実習	開講時期	1年後期	時間数	120	区分	必修	分野	就業体験	
背景と目的	本科目では「就職や勤労に対する意識」を涵養し、社会人として「自分に足りないもの」を自覚し、今後の学習意欲の向上を図ること、また「実際に仕事に臨むための姿勢や態度」を体感し、今後の進路・職業選択に役立てることを目的とする。									
到達目標	①社会人としての基本的礼儀、協調性、働く姿勢、実務を習得する。 ②研修の目的、内容を理解し、反省点を振り返る力を習得する。 ③研修内容をとりまとめ、報告することができる。									
授業外の学習	返却された『日報』をしっかりと通読する時間を設け、自らの体験学習を振り返ること。									
評価方法	取組姿勢(30%)、日報(30%)、受入先企業評価(20%)、報告会(20%)、									
教科書	—									
参考書	—									
関連する資格	—									

☆☆のある教員は実務経験有り

授業計画				
実習・演習の進め方	①担当教員と十分な事前相談→②受入先企業・団体の指導の下で10日間の就業体験→③報告会へ向けての振り返りと資料づくり→④報告会で発表			
回	時間数	項 目	授業内容	担当教員
1	2	ガイダンス・事前準備	インターンシップに関する説明・受け入れ企業の検討	各コース担当教員
2	8	インターンシップⅢ報告会	インターンシップⅢ報告会への参加	各コース担当教員
3	80	インターンシップ実施(10日間)	受入先企業・団体等での業務に従事(実習)	各コース担当教員
4	22	報告書とりまとめ	報告書とりまとめと報告会資料作成	各コース担当教員
5	8	報告会	プレゼンテーション形式による発表と参加	各コース担当教員

特記事項	受入先企業・団体等の選定や事前の準備など、専攻するコースの教員と十分に相談を行うこと。 「業務従事中は受入先企業等の一員である」意識を持ち、ビジネスマナーに留意すること。また実習時の怪我や器物の破損など、事故のないよう十分に注意すること。 報告会では、他の発表者に質問するなど積極的に参加すること。
学生へのメッセージ	長期間の業務従事は初めてという学生も多いと思います。自分なりのテーマを考え、仕事の大きな流れを体感し、今後の学習活動で学ぶべき課題を持ち帰ってきてください。